

白と黒のロダン

好評開催中! 3/25まで



県立美術館では今「ロダン—創造の秘密」展を開催中で、大勢のお客さまが来館されています。

今回の目玉は、国内ではほとんど観ることのできなかった石膏像が多数出品されたことです。ロダン研究者のあいだでは近年注目を集めており、『白いロダン』と呼ばれています。これにあわせて、多くのブロンズ像『黒いロダン』も展示されており、粘土像から石膏像を経て、ブロンズ像、大理石像に至る創造の過程が、興味深く鑑賞できる構成となっております。

この機会をお見逃しのないようお早く県立美術館にお出かけ下さい。会期は3月25日(日)までです。

なお、お出での節は、ラグビーボールのような形のロダン常設館もお忘れなくお立ち寄り下さい。無料音声ガイドもあります。

—INFORMATION—

■ギャラリートーク

ボランティアによる作品解説があります。実施日は下記です。

3/2(金)・4(日)・9(日)・10(土)
11(日)・16(金)・17(土)・18(日)
21(水)・23(金)・24(土)・25(日)

※14:00~14:20及び15:00~15:20の2回実施。
尚、18日と25日は13:00~13:20にも実施。

■託児サービス

土・日、祝日は、託児サービスをご利用いただけます。(無料 10:30~16:30)

■グッズ販売

館内のショップでは、ロダン関連グッズを販売。パリ直輸入品多数あり。

■特別メニュー

レストランでは、白と黒のロダンにちなんだ2種の特別メニュー、白の料理、黒の料理をご用意。



活動拝見

『小さな喫茶店』 河合謙臣さん(静岡市)

静岡市の葵区役所の裏通りに、小さな喫茶店「ダージリン」があります。店内にはまるで主のように県立美術館のポスターが展示されています。私の広報活動はここが拠点です。

茶房内では一年中、絵画・美術品が展示され、2週間ごとに展示替えも行われます。店のママは美術に理解をお持ちで、いつも笑顔でお客を迎え、大勢の日曜画家や美術愛好家のアイドルです。

客の主役は絵描きや工芸家達です。仲間やライバルが各自の美術論を語り、終わりが無い。ただし、絵を描くことと美術鑑賞することは全く別物のようです。私の観察では、この方々が美術館に行く回数は意外に少ないと思われます。そこで私は、自ら“ミスター・サポーター”と称し、県立美術館の展覧催しを大いにPR。私じゃなくてミスターの言うことならきっと聞いてくれるかも…と信じているこの頃です。(以上、ご本人からの投稿でした)

こーゆー
こーなとこに!



↑マドンナです



開館20周年記念展の時は、2階ロビーの壁一面にポスターを展示

グループ紹介 第2回/アートセンターBグループ

私たちの県立美術館には、全国各地の美術館、作家、画廊などから、たくさんのポスター、展示関連印刷物、はがきなどが送られてきています。アートセンターBグループはそれらの資料を分類整理、保管するのが主な仕事で、来館者の様々な美術鑑賞を少しでもサポートできればと、地道に活動を続けています。

たとえば、県内外の展覧会案内のリーフレットや、当美術館および静岡県内の美術関連の新聞記事などは、ファイルに整理されて2階ロビーまたは図書閲覧室でご覧いただけるようになっていますので、どうぞご利用ください。

昨年、美術館の『開館20周年記念展』が開催された際には、《静岡県立美術館/企画展ポス

ターの二十年》と題し、開館以来のすべての企画展ポスターを2階ロビーに展示しました。来館されたお客様に、ポスターで20年を振りかえっていただこうというものです。展示されたポスターは、地域の方々のご協力により134枚にもものぼり壮観でした(大切に保管していたポスターを供出してくださった皆様に感謝!)。尚、ポスター展示第2弾として、現在開催中の『ロダン—創造の秘密』展にあわせ、開館以来のロダン関連ポスターを展示中です。前回と同じく2階ロビーでご覧いただけます。

グループの今後は、現在の地道な資料整理に加えて、さらにお客様の美術鑑賞のお役に立てるように活動の幅を広げて行くとのことです。